

容器による供給設備の技術上の基準に関する説明書

（貯蔵能力が500kgを超え、3000kg未満のもの）

項 目		条 項 規則18条	対 応 事 項				
満貯蔵能力が500～1,000kg未	火 気	1号イ	火気との距離 m 火気をさえぎる措置()				
	腐しよく防止措置	1号ロ	腐しよく防止の方法 ()				
	容器の温度管理	1号ハ	<input type="checkbox"/> 常に40度以下に保つ措置				
	転落転倒防止等	1号ニ	方法 ()				
貯蔵能力が1,000kg以上の場合	保 安 距 離	2号イ		法 定	実 際	緩和の必要性	
			第1種	16.97m	m	有 無	
			第2種	11.31m	m		
	保 安 距 離 緩 和	2号イ	障 壁 <input type="checkbox"/> コンクリートブロック <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート <input type="checkbox"/> その他 () ※ 図面添付				
	火 気	2号ロ	火気取扱施設との距離 m 隔壁 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 法定 5m 以上 ※ 図面添付				
	滞 留 防 止 措 置	2号ハ	換気口	必要面積()m ²	※ 図面添付		
	さ く ・ へ い 等	2号ニ	構 造	<input type="checkbox"/> ボンベ小屋 <input type="checkbox"/> フェンス <input type="checkbox"/> その他 ()	※ 図面添付		
	警 戒 標	2号ホ	<input type="checkbox"/> LPガス貯蔵設備 <input type="checkbox"/> 燃 <input type="checkbox"/> 火気厳禁 <input type="checkbox"/> 販売所の名称				
	防 消 火 設 備	2号ヘ	消火器 (A－ B－) 本 <input type="checkbox"/> 散水設備 ※ 図面添付				
	屋 根 又 は 遮 へ い 板	2号ト	材 料 () ※ 図面添付				
	腐しよく防止措置	2号リ	腐しよく防止の方法 ()				
	発 生 能 力 等	規 則 18 条 4 号	<input type="checkbox"/> 貯蔵設備は最大使用数量に対応するものであること。 <input type="checkbox"/> 気化装置及び調整器は最大消費数量に対応できる能力があること。（規格は別表）				
腐しよく・割れ等	5号	<input type="checkbox"/> バルブ、集合装置、供給管、ガス栓は、使用上支障のある腐しよく・割れ等がないものであること。					

腐しよく防止措置		6号	名 称	使用材料	腐しよく防止の方法	
			バルブ			
			集合管			
			供給管			
使 用 材 料		7号	前表のとおり			
耐圧性能	高圧側	8号イ	<input type="checkbox"/> 2. 6 MPa以上であるもの			
	中圧側	8号ロハ	<input type="checkbox"/> 0. 8 MPa以上であるもの			
引 張 り 強 さ		8号ニ	<input type="checkbox"/> 1 KN以上であるもの			
集合装置等の修理		8号2	イ	<input type="checkbox"/> 漏えい防止措置を講ずること。		
			ロ	<input type="checkbox"/> 漏えいしていないことを確認をすること。		
			ハ	<input type="checkbox"/> 修理終了後、漏えい確認をすること。		
気 密 試 験		9号イロ	<input type="checkbox"/> 供給管は工事終了後に行う次の気密試験に合格すること。 <small>※記録紙添付</small> イ 1次側調整器と2次側の間 0.15MPa以上 ロ イ以外 8.4KPa以上			
漏 え い 試 験		10号	<input type="checkbox"/> バルブ、集合装置、気化装置、供給管は漏えい試験に合格するもの			
圧 力 保 持		11号イロ	<input type="checkbox"/> 燃焼器の入口におけるLPガスの圧力を次の範囲に保持するものであること。 <small>※記録紙添付</small> イ 生活の用供するもの 2.0Kpa以上3.3Kpa以下 ロ イ以外のもの 燃焼器に適した圧力			
損 傷 防 止		12号	<input type="checkbox"/> 建物の自重、土圧により損傷のおそれのある供給管には損傷を防止する措置を講ずること			
設 置 場 所		13号	<input type="checkbox"/> 供給管は地崩れ、山崩れ、地盤の不同沈下等のおそれのある場所又は建物の基礎面下に設置しないこと			
危 険 標 識		14号	<input type="checkbox"/> 供給管を地盤面上に設置する場合の危険標識			
温度変化を吸収する措置		15号	<input type="checkbox"/> 供給管には、温度変化による長さの変化を吸収する措置を講ずること（埋設管を除く。）			
排 除 措 置		16号	<input type="checkbox"/> 内部に液化物の滞留するおそれのある供給管には、液化物を排除することができる措置を講ずること			
切 替 措 置		17号	<input type="checkbox"/> 1の供給設備により2以上の消費設備に供給する場合は、供給を中断することなく容器交換できる設備を設けること <small>※施工後の表示(法38の11)</small>			
ガ ス 栓		18号	<input type="checkbox"/> 1の供給設備により2以上の消費設備に供給する場合は、ガスメーターの入口側の供給管にガス栓を設けること			
気 化 装 置		19号	イ	<input type="checkbox"/> 腐しよく、割れ等がないもの		※ 図 面 添 付
			ロ	<input type="checkbox"/> 2. 6 MPaの耐圧試験に合格するもの		
			ハ	<input type="checkbox"/> 加熱方式（ ）		
			ニ	<input type="checkbox"/> 液状のガス流出防止措置のあるもの		
			ホ	<input type="checkbox"/> 凍結防止措置のあるもの		

調整器 (2次側有・無)	20号	イ	<input type="checkbox"/> 腐しよく、割れ等がなく使用する液化石油ガスの規格に適合したものであること。		
		ロ	使用箇所	耐圧試験圧力	気密試験圧力
			1次側	<input type="checkbox"/> 2.6 MPa	<input type="checkbox"/> 1.56 MPa
2次側	<input type="checkbox"/> 0.8 MPa	<input type="checkbox"/> 0.15 MPa			
調整器 (2次側有・無)	20号	ハ	<input type="checkbox"/> 調整圧力 KPa～ KPa (法定：2.3KPa以上3.3KPa以下) <input type="checkbox"/> 閉そく圧力 KPa (法定：3.5KPa以上)		
緊急遮断装置	21号		<input type="checkbox"/> 供給管と接続した貯蔵施設ごとに、これに近接して緊急遮断装置を設置すること。 ※図面添付		
体積販売の設置方法	22号	イ	<input type="checkbox"/> 流量遮断機能付ガスメーター設置	} いずれか	} でよい
		ロ	<input type="checkbox"/> ガス漏れ警報器 (ガス遮断連動)		
		ハ	<input type="checkbox"/> 耐震遮断器		

特定液化石油ガス設備工事に該当する場合

施工後の表示	法38の11	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
表示の方法	規則116条	貼付場所 供給管、配管、その他 () <input type="checkbox"/> 表示板サイズは規則様式59のとおり
表示の内容	規則117条	<input type="checkbox"/> 特定液化石油ガス設備工事事業者の氏名又は名称 <input type="checkbox"/> 施工年月日又は工事番号 <input type="checkbox"/> 連絡先

設備の種類		規格等		
貯蔵設備	容器	設置数量	() Kg容器 × () 本	() Kg容器 × () 本
		型式 () 処理能力 () Kg/H 製造番号 () 製造年月 () 年 () 月		
調整器	区分	1次側	2次側	
	型式			
	処理能力	Kg/H		Kg/H
	製造年月	年 月	年 月	

(記載要領)

1. 該当しない欄は抹消すること。
2. 対応事項は、必要によって別紙に説明書を添付すること。
3. 該当する口には✓を付し、()には数値又は説明を記入すること。